

## TCFD提言への対応

当社は、社会的に責任のあるエネルギー事業者として、ESGの視点で経営を展開しており、2019年5月に、「気候変動が事業活動にもたらすリスク・機会を分析し、情報開示を推進する」というTCFD提言の趣旨に賛同しました。今後もTCFD提言に沿った情報開示を進めるとともに、更なる電源の低炭素化に積極的に取り組む等、気候変動が当社事業にもたらすリスク・機会に対し適切に対応し、社会の持続的な発展に貢献していきます。



### TCFD: 気候関連財務情報開示タスクフォース

金融安定理事会 (FSB: Financial Stability Board) によって2015年12月に設立。投資家が気候関連リスクおよび機会について十分な情報に基づき投資判断を行うために、企業等に対し気候関連の情報開示を促す任意的な提言を2017年6月に公表。以下の項目について開示することを推奨。

### ガバナンス

#### 気候関連リスクおよび機会に係る組織のガバナンス

- 社長を環境管理最高責任者とする環境管理体制のもと、環境担当役員を委員長とする「環境対策委員会」を定期的に開催し、気候関連リスク・機会、指標等の評価・管理を行っています。

**WEB** 環境管理体制 <http://www.rikuden.co.jp/managementsystem/taisei.html>

- また、環境対策委員会での審議結果については、取締役会に報告しています。

### リスク管理 (P13, 14)

#### 気候関連リスクについて、組織がどのように識別・評価・管理しているか

- 経営リスクについて適宜把握・評価のうえ、取締役会にて毎年度策定する経営計画等の諸計画に反映するとともに、必要に応じて、当該リスクに関する課題や対応方針を検討する組織の整備や全社横断的な委員会等を設置し、適切に対応しています。
- 気候関連リスクについては、環境対策委員会において識別・評価し、経営リスクとともに取締役会に報告しています。

### 戦略 (P13, 14, 22, 23, 43)

#### 気候関連リスクおよび機会がもたらす組織のビジネス・戦略・財務計画への影響

- 環境対策委員会にて識別した気候関連リスク・機会を含む経営リスク・機会を認識した上で、北陸電力グループ2030長期ビジョン、第一次中期経営方針・計画を策定しています。
- 志賀原子力発電所の早期再稼働、水力発電電力量の拡大やバイオマス混焼比率増加等による再生可能エネルギーの導入拡大等、電源の低炭素化をはじめとする低炭素社会の実現に向けた気候変動に関する取り組みを推進していきます。

### 指標と目標 (P11)

#### 気候関連リスクおよび機会を評価・管理する際に使用する指標と目標

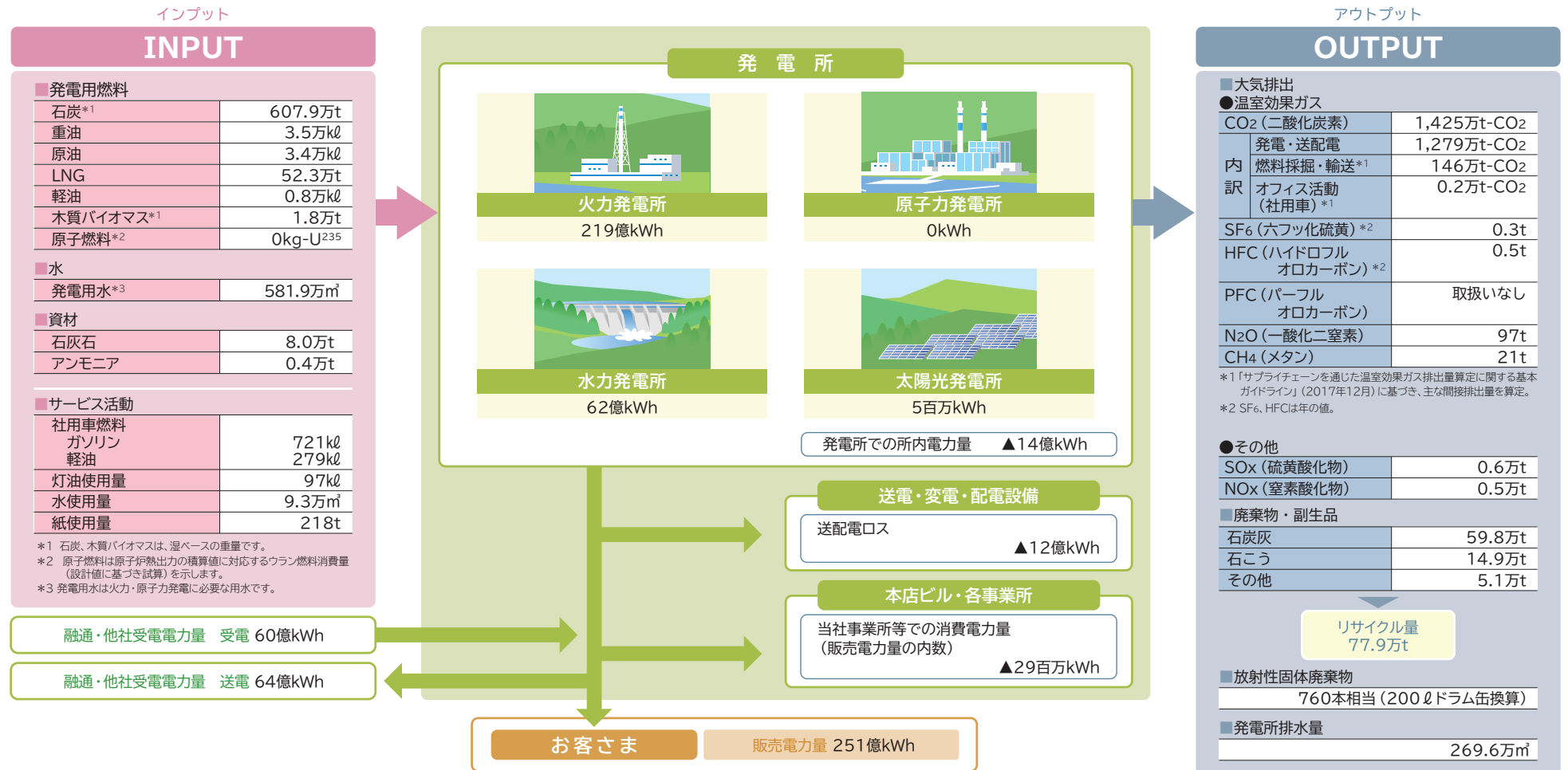
- 北陸電力グループ2030長期ビジョンにおいて以下の目標を掲げています。
  - ・再生可能エネルギー発電電力量=+20億kWh/年\*1
  - ・石炭消費量=10%削減/年\*1
  - ・省エネ法に基づく環境指標の達成(火力総合発電効率=44.3%、火力発電効率の実績値/目標値=1.00)
  - ・販売電力量に占める非化石電源比率=44%
  - ・温室効果ガス排出係数=0.37kg-CO<sub>2</sub>/kWh\*2

\*1 2018年度対比 \*2 「電気事業低炭素社会協議会」(当社を含む旧一般電気事業者および新電力等の一部で構成)で目指す目標

## マテリアルバランス

事業活動に伴う物質、エネルギーのフローを定量的に把握し、限りある資源の有効活用、環境負荷の低減に努めています。

### 北陸電力(2019年度)



## 環境管理計画の策定と目標達成に向けた取組み

毎年度、環境保全のための具体的行動計画として「北陸電力グループ環境管理計画」を策定しています。2020年度計画では、志賀原子力発電所の早期再稼働、再生可能エネルギー発電電力量の拡大等に加え、低炭素社会・循環型社会実現に向けた取組み、生物多様性に配慮した環境保全の取組み等を積極的に推進しています。

**WEB** 北陸電力グループ環境管理計画 <http://www.rikuden.co.jp/kanrikeikaku/>

### 低炭素社会・循環型社会実現に向けた取組み

二酸化炭素の排出抑制に有効な電気自動車の導入や、資源の有効活用等に努め、環境への負荷が少ない低炭素社会・循環型社会の形成に取り組んでいます。

#### ●電気自動車の導入促進

当社グループは、低炭素社会実現に向け、「2030年度までに北陸電力(株)・北陸電力送配電(株)の社用車の電気自動車比率\*1を48%\*2から100%へ向上させる」ことを目標にしています。

また、避難所等の非常用電源への電気自動車の活用について、自治体との連携体制を含めて検討するとともに、走行・蓄電データを分析し、エネルギーマネジメント等に活用します。

2020年5月には、業務用電気自動車の普及を目的に設立された「電動車活用推進コンソーシアム\*3」に加入しました。



社用電気自動車

\*1 緊急用車両や高所作業車等の特殊車両および電気自動車への代替が不能な車両(4WD車等)は除きます。また、プラグインハイブリッド車(PHV)を含みます。

\*2 2018年度末時点

\*3 日本電信電話(株)、(株)日立製作所、(株)リコー、東京電力ホールディングス(株)の4社を発起人として設立。(設立時点で計40事業者が加入)

#### 「チャレンジ・ゼロ」への参加

2020年7月に、日本経済団体連合会が推進する「チャレンジ・ゼロ※」(チャレンジ ゼロ・カーボン イノベーション)に参加しました。



温室効果ガスの排出削減および持続可能な社会の実現に向け、電源の低炭素化や新たな価値の創出に取り組んでいきます。

#### 〈当社の主な取組み〉

- 石炭火力発電所効率向上に向けた取組み
- 電気自動車・蓄電池・太陽光発電等を活用したエネルギーマネジメントに関する実証試験
- 家庭用エコキュートの遠隔制御実証
- AIを活用した「ダム最適運用システム」の共同開発

**WEB** 「チャレンジ・ゼロ」 <https://www.challenge-zero.jp/>

#### ●3Rの積極的な推進

当社グループは、事業活動で発生する廃棄物の抑制(Reduce)、再利用(Reuse)、再資源化(Recycle)に取り組んでいます。

当社グループで2019年度に発生した産業廃棄物等の量は80.8万tで、有効利用に取り組んだ結果、リサイクル率は97.4%となりました。

#### 〈石炭灰の有効利用〉

セメント材料やグラウンド表層材への石炭灰の有効利用に取り組んでいます。

コンクリートの混和材として利用することでコンクリートの耐久性が向上する特性を活かし、北陸新幹線工事の高架橋等のコンクリート構造物にも当社の石炭灰が活用されています。



北陸新幹線高架橋

#### 〈グループ会社での機密文書リサイクル〉

グループ会社の(株)ジェスコでは、万全のセキュリティシステムと設備を整え、お客さまからお預りした機密書類を破砕処理し、トイレットペーパーやコピー用紙等に再生する地域循環型リサイクルを展開しています。2019年度のリサイクル量は約1,740tです。



工場内でのリサイクル処理

## 生物多様性に配慮した環境保全の取組み

生物や自然の恵みに配慮し、持続可能な事業活動に取り組むほか、森林保全等の生物多様性維持のための活動を継続的に実施しています。

### ●水の恵みをありがとう!森に恩返し活動

当社グループは、水源かん養\*やCO<sub>2</sub>の吸収等、さまざまな恩恵を与えてくれる森林に感謝の気持ちを込めて、北陸3県5地区(富山、新川、加賀、能登、福井)で森林保全活動を展開しています。2019年度までに約4,570本の植樹や下草刈りを実施し、延べ約9,400名(他団体主催活動参加者を含む)が参加しました。



森に恩返し活動

### ●事業所周辺や海岸等の清掃活動

地域への貢献や従業員の環境意識の高揚を目指し、継続的に事業所周辺や海岸等の清掃活動を行っています。2019年10月に「世界で最も美しい湾クラブ」の世界大会が富山県で開催されたことや、海洋プラスチック問題への意識の高まりを受け、県内各地での海岸清掃活動に約270名の従業員やその家族が参加しました。



海岸清掃活動

### ●七尾大田火力発電所石炭灰処分場設置事業における環境保全の取組み

2019年8月に開始した準備工事において、「仮設防音壁の設置による工事騒音低減」や「希少猛禽類の営巣期に合わせた工事内容の見直し」等、環境影響評価書に基づく環境保全措置を適切に実施しています。また、工事中の騒音測定や鳥類の繁殖状況調査を実施しています。

### ●コウノトリの保護

2019年4月下旬に国の特別天然記念物「コウノトリ」のペアが福井県坂井市の当社の電柱に巣を作りました。

地元住民の皆さまからの「巣を残してほしい」との要望を踏まえ、自治体と協議のうえ、停電とコウノトリの感電防止のため、配電線の迂回工事を行い、この電柱への通電を止めて、4羽のヒナの巣立ちまで見守りました。



コウノトリへの個体識別足輪 取付協力

### ●稚魚の放流イベント

当社水力センターでは、河川からの恵みに感謝するとともに、次世代を担う子どもたちに環境保護の大切さを伝えることを目的として、地元の漁協などと共同で、児童とともにアユ・ゴリの稚魚の放流や河川周辺の清掃活動を実施しています。



アユ放流イベント